

10/25 (日) 3:00pm 工藤篤子賛美コンサート vol.11 無観客ライブ配信

ライブ配信は教会ホームページからご覧いただけます。http://www.takara-eikou.com

参加無料



工藤篤子 (地中海ソプラノ)

札幌大谷短期大学音楽科卒業、同短大音楽専攻科及び研究科修了。1983年マドリード国立声楽院に留学。1987年、スペイン・ヤマハコンクール一位、ONCEコンクール二位。声質は地中海ソプラノで、オラトリオのソリストとして、またスペイン歌曲のスペシャリストとして、ヨーロッパ各地の国際フェスティバルに招かれる。2000年「工藤篤子音楽ミニストリーズ」設立、2011年「工藤篤子ワークショップ・ミニストリーズ」に改称。カーネギー・ホールでの伝道リサイタルを始め、世界の各地で賛美を通して救いの福音を伝えている。2013年秋より各地で賛美セミナーも始める。35年の欧州生活を終え、一昨年日本に帰国。大阪の事務局を拠点に賛美伝道活動を継続している。



野田常喜 (ピアノ)

京都出身。幼少より、教会で賛美歌やゴスペルを熱心に歌う両親の影響を受け、7歳の頃からバックでピアノを弾き始める。大阪音楽大学ピアノ科卒業。現在、クラシックやゴスペルの演奏活動を日本各地で行っている。作曲、編曲、アルバム制作にも力を入れている。オーケストラを思わせるピアノリズムと、その場の臨場感に合わせ、共演者と対話するような演奏法は、多くの感動と共感を生んでいる。



賛美歌誕生秘話「主よ御手もて」

「秋の夜半(よわ)」という唱歌をご存知でしょうか。1910年(明治43年)の中学唱歌に収録されました。有名な歌人・国文学者の佐佐木信綱が作詞しました。原曲は、19世紀ドイツ・ロマン派カール・マリア・フォン・ウェーバーの書いたオペラ「魔弾の射手」の序曲です。

実は、このメロディーは、「主よ御手もて」という賛美歌として教会で親しまれています。作詞者はホレイシャス・ボナーという19世紀スコットランドの牧師です。彼は、衰退し、形骸化していた教会において、もう一度信仰を奮い立たせる改革の先頭に立った人物です。信仰とは何か。それは、どんな時でも、どんな状況にあっても、神様に信頼し、自分の力ではなく神様の導きによって生きていくことなのだ。彼はこのように確信し、この歌詞にそれをはっきりと表したのです。

自分に頼っていこうとしても、必ずどこかで壁にぶつかります。自分の力には限界があるからです。しかし、神様に頼ることの強さを知っている人は違います。私たちの前に、自分の力ではどうすることもできない壁が立ちはだかるときも、神様の力によって、その壁を突き破ることができるからです。そうして神様がいつも私たちの手を引いて導いてくださるのです。

1. 主よ御手もて 引かせ給え
ただわが主の 道を歩まん
いかに暗く 険しくとも
御旨ならば われいとわじ
2. 能力頼み 知恵に任せ
われと道を 選び取らじ
行く手はただ 主のまにまに
委ねまつり 正しく行かん
3. 主よ飲むべき わが杯
選び取りて 授け給え
喜びをも 悲しみをも
満たし給う ままにぞ受けん
4. この世を主に 献げまつり
神の国と なすためには
責めも恥も 死も滅びも
何かはあらん 主に任せて



いのちの光をいただいて

新約聖書の福音書では、多くの人々がイエス・キリストと出会っていますが、いろいろな出会い方があります。自分から求めてキリストに会いに行った人、たまたまキリストに出くわした人、だれかに誘われてキリストに会った人など様々です。しかし、なかには無理やりキリストのもとに連れて来られた人もいました。それは、ヨハネの福音書8章に登場する、罪を犯した女性でした。

彼女は、罪を犯している現場をパリサイ人たちに捕らえられ、キリストの所に連行されて来ました。彼らがキリストに、彼女にどう対処したらよいかを尋ねると、キリストは「あなたがたの中で罪のない者が、まずこの人に石を投げなさい」と言われました。これを聞いた彼らは、一人また一人とその場を立ち去り、結局、彼女を処罰する者は誰もいませんでした。

キリストは、「わたしもあなたにさばきを下さない」と言われ、彼女を赦されました。赦されるはずのない罪人を、キリストは無償

で赦されたのです。そして、そのあとでこう言われました。

「わたしは世の光です。わたしに従う者は、決して闇の中を歩むことがなく、いのちの光を持ちます。」(ヨハネの福音書8章12節) 光は暗闇を照らします。キリストは、罪のために真っ暗になっていた私たちの心を照らし、罪をわからせ、十字架で流された血をもって罪を赦してくださいます。罪を悔い改め、キリストの十字架を信じて、罪が赦されたら、私たちの内にもいのちの光が与えられ、世の光として輝いて生きていくことができます。

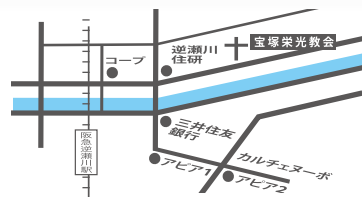
暗いニュースが続く今日です。どこからも希望の光が見えて来ない混乱した時代にあって、燦然(さんぜん)と輝く光として生きていくことができたら、どんなに素晴らしいでしょうか。自分では光を発することはできません。キリストに出会って、十字架によって罪が赦され、キリストに従っていくことによって、内にいのちの光を持つ者とならせていただきましょう。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com



教会HP



礼拝動画

希望のダイヤル(聖書のお話)

0797-77-3746

毎週更新。24時間つながります。
ホームページからも利用できます。

礼拝 毎週日曜日

第一部 9:30~10:40

第二部 11:00~12:10



「ミゾソバ 一秋の野の花」

晩夏の頃から 秋にかけて 花をつけるミゾソバが
今年も 厳しい夏をものともせず 咲き始めていた
ミゾソバの 花の情報を得て 出かけていくと
水辺のほとりで さすがに 例年よりは小ぶりであったが
可憐な表情はそのままに 迎えてくれた

金平糖のような つぼみの先は ほんのり紅色で
開いてくる花は 全体にピンクがかっている
かわいい花である

春のミゾソバは 枯草の中から芽を出して
緑の葉で あたりを敷き詰めているが
やがて細い茎が立ち上がり その先端が枝分かれして
先っぽに 3mm~6mmほどの小さなつぼみをつける
田んぼの畦道や川など 湿ったところで群生しているのを
見つけることがある

今年 これほど厳しい気候になるとは 知るよしもない
物言わぬ花たちから 受け取るものがあるはずと
心の耳を静かに傾けてみる

あなたは知らないのか 聞いたことはないのか
主は とこしえにいます神
地の果てに及ぶ すべてのものの造り主
倦むことなく 疲れることなく
その英知は 究めがたい

イザヤ書40章(聖書)